

ちよつといひ話

～ 徳 人 ～

お会いするだけで心が和み、癒される。そんな暖かい人柄の持ち主、近くに見えますでしょうか。その様な方はまさしく徳人です。私は世の中、宗教家でなくても徳人は何処かに見えると思います。当山の御本尊、善光寺如来様の左側に大慈大悲の観音菩薩様がお立ちになり阿弥陀様を補佐してみえます。観音様は我々の苦しみを救って下さる愛の化身とでも申しましょうか、その名を呼び祈念すれば抜苦与樂の働きを確約して下さる菩薩様です。釈迦をはじめ各祖師は既に亡くなって日が遠く、残念ながら実際に接見する事は不可能です。又、徳人に帰依したくても何所の何方にすがれば良いのか見当もつきません。徳人とは仏教で言う、覚りを得た方ではないでしょうか？ただ優しいだけでは人の為、世の為には成らない事が多々出来てしまいます。徳人の住める環境もあるかと思えます。癒される場所なれば当山善入院の本堂は最高です。実に心を洗い清め身心共に清々しくしてくれます。人間には相性もあり、気が合う、合わないと言う事も多々ありますが八方美人的になりすぎて二重人格に成ってしまつては台無しです。私達は少しでも良い環境を作りながら徳人には成れなくても、少しは頼りがいのある人間と言われる様に精進努力をして行く必要があるかと思えます。色々な佛閣を参拝しても意に叶う寺は実に少ないのです。国宝ともなれば仏像は美術的価値判断から拝む対象から見物する物としての扱いになってしまいました。拝み、祈りを捧げるとすれば堂内には魂に響くものがなくてははいけません。それは我々の五官で感じるものです。感じ方には色々あり、誰しも経験があると思います。仏教には福德円満、福寿無量とあり人格の保証をしています。 行 行

善入院油掛地藏尊